



第4回 市川・荷風忌のお誘い

日本を代表する文豪・永井荷風（ながいかふう）は、1946年（昭和21）1月から、従兄弟で邦楽家の杵屋五隻とともに市川へ移り住み、フランス文学者小西茂也宅への仮寓を経て、ひとり暮らしの老境生活を送りました。

そして、1959年（昭和34）4月30日未明、79年の生涯を閉じました。

市民が発起人となって開催された「市川・荷風忌」を、今年も開催します。

終焉の地市川から、荷風の晩年に想いを馳せたいと思います。

講演では、小西家に旧蔵されていた新収資料についても、話題にのぼる予定です。

ビデオ上映「永井荷風一個我の自由を求めて」

講演「『荷風全集』新収資料をめぐって」

鈴木康之氏（岩波書店編集部）

2012年（平成24）5月3日（木・祝）

14時～16時30分（開場 13時30分） 定員220名

会場 市川市 グリーンスタジオ（市川市生涯学習センター 2階）（無料 要申込）

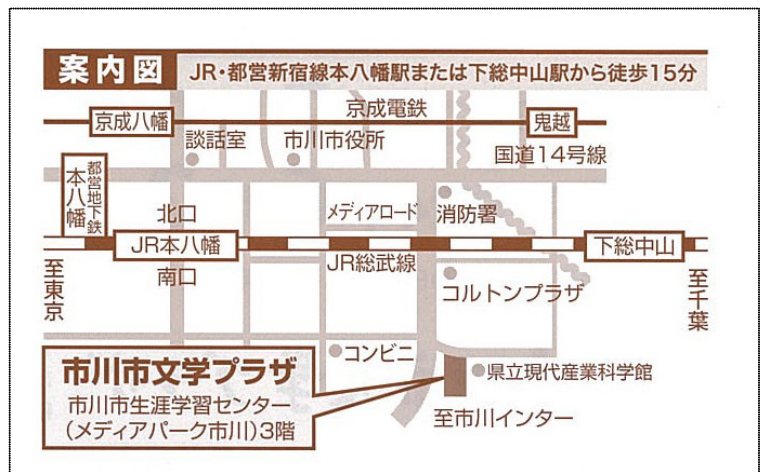
講演後にフロアトークや、終了後に希望者で大黒家にて懇談会も予定

明治・大正・昭和
ひとりの孤独な文学者の精神の軌跡



上映作品 紀伊國屋書店ビデオ評伝シリーズ 文学と時代2
監修＝紀田順一郎 監督＝藤原道夫
朗読＝佐藤 慶 ナレーション＝香川京子
企画・発行＝紀伊國屋書店 制作＝ポルケ
2002年 【63分】

市川市文学プラザ（3階）で開催中の企画展
「文学の街 いちかわ」では、荷風の遺品など展示中
（5月20日まで 10時～17時 月曜休館）
市川市中央図書館（1階）やグリーンギャラリー（2階）
でも、荷風関連展示を行います。



呼びかけ人「市川・荷風忌」実行委員会

- 秋山忠彌（江戸史研究家）
- 岡本文子（和洋女子大学教授）
- 梶山俊夫（画家）
- 神作光一（歌人）
- 神田重幸（東洋大学名誉教授）
- 木谷喜美枝（和洋女子大学教授）
- 吉清英夫（月刊「いちかわ」編集発行人）
- 能村研三（俳人）
- 橋本敏男（文筆家）
- 葉山修平（作家）
- 増山孝子（大黒家女将）
- 山崎敬生（風の会）
- 吉井道郎（作家）
- 吉原 廣（劇作・演出家）

問い合わせ・申し込み
272-0015 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター3階

市川市文学プラザ

TEL 047-320-3354 FAX 047-320-3352
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/bunpla/>（月曜休館）

平成24年度、生涯学習センター2階の映像文化センターと3階の文学プラザとを統合して、新しい文学映像施設の整備事業を進めていきます。